

トラック2 縁談から添い寝導入

*帰宅後、昼食を終えてこれから縁談が始まるまでのお話です

「お粗末様でした」

「兄さんはこれから客間で面会だよねねえ、
私もあってみてもいい」

「もしかしたら私のお姉さんなるかもしない人なんだし、
どんな人かだけでも知つておこうと思つて」

「百聞は一見にしかずだよ兄さん」

「ええー、それでもダメなんだ
⋮わかった、大人しくしとく」

「って、もしかしてあの人人がそうかな

兄さんは写真見て一応顔は知つてるんでしょ？」

「やつぱりあの人なんだ」

「へえ〜、めちゃくちゃ美人さんだ

あんな人この町で見たことないけど、一体どこの人なんだろ」

「あれで性格良かつたら完璧だよね」

「兄さん?:ちょっと兄さんってばひょっとして見惚れてたの?」

「あつそう、別にいいけど⋮」

「ひな、わがまま言つてないでおとなしく待つてなさい」

「ごめんなさいね、

この子お兄ちゃんのことになるといつもこうで」

「ちょっとお母さん！

もうつ、はあ・・・私はお邪魔らしいから家に帰ってるね

「それじゃあまた夜に来るからごゆっくり」